令和7年度環境保全報告書

株式会社ホテルオークラ神戸

① 令和7年度環境保全活動(及び公害防止対策)実施報告

(1)公害防止対策

分野	項目	具体的な対策内容	実施状況
大気汚染対策	ばい煙発生施設の低NO_x化の推進	施設の設置、更新の際に低NOX仕様の機器の導入を積極的に推進する。	機器更新実績　0件
	低NO_x総量規制の推進	「県窒素酸化物指導指針」に基づき、NO_x排出量を抑制する。	
	光化学スモッグ等の緊急時の措置	「光化学スモッグ緊急時要領」及び「季節大気汚染対策実施要領」に基づき実施する。	光化学スモッグ警報の発令件数　0件
その他有害物質対策	法令等に定める有害物質対策	「大気汚染防止法」及び「県環境条例」に排出基準のある物質について排出を抑制するとともに排出量の監視を行う。	別紙参照
	その他有害物質対策		

No. T-59616

計　量　証　明　書

２０２６年３月１０日

ホテルオークラ 神戸　殿

計量証明事業大阪府知事登録10072号
鳳産業株式会社　分析センター
高槻市梶原３丁目７番１０号
電話(072)685-6263 (代)

環境計量士　氏名　脇坂　正樹
登録番号　第11179号

御依頼の測定結果を次の通り証明致します。

施設名　B-1 炉筒煙管ボイラ No.1

測定日　２０２６年２月２４日

計量の対象	計　量　の　方　法	計量の結果	定量下限値
ダスト濃度	JIS Z8808　移動採取法	検出せず　g/m^{3}N	0.0014
ダスト濃度	※　残存酸素による補正値	検出せず　g/m^{3}N	0.0022
硫黄酸化物濃度	JIS K0103･7.1　ｲｵﾝｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌ法	-----　ppm	
硫黄酸化物の量	※　時間当りの硫黄酸化物排出量	-----　m^{3}N/h	
窒素酸化物濃度	JIS K0104･7.3　ｲｵﾝｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌ法	23　ppm	
窒素酸化物濃度	※　残存酸素による補正値	37　ppm	
二酸化炭素濃度	JIS K0301･7.1　オルザット式	6.2　%	
酸素濃度	JIS K0301･7.1　オルザット式	11.0　%	
一酸化炭素濃度	JIS K0301･7.1　オルザット式	検出せず　%	0.2
塩化水素濃度	JIS K0107･7.1　ｲｵﾝｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌ法	-----	
		以下余白	

◎ ※印については、計量証明対象外です。
◎ ”検出せず”とは、定量下限値未満のことです。
◎ ダスト濃度のＯｎ＝５です。
◎ 窒素酸化物のＯｎ＝５です。

【工程の一部を外部委託】有・無
委託業務の内容：
事業者名：
登録番号：
所在地：

No. T-59617

計 量 証 明 書

２０２６年３月１０日

ホテルオークラ 神戸 殿

計量証明事業大阪府知事登録10072号
鳳産業株式会社 分析センター
高槻市梶原３丁目７番１０号
電話(072)685-6263 (代)

環境計量士 氏名 脇坂 正樹
登録番号 第11179号

御依頼の測定結果を次の通り証明致します。

施設名 B-2 炉筒煙管ボイラ No.2

測定日 ２０２６年２月２４日

計量の対象	計 量 の 方 法	計量の結果	定量下限値
ダスト濃度	JIS Z8808 移動採取法	検出せず g/m^{3}N	0.0013
ダスト濃度	※ 残存酸素による補正値	検出せず g/m^{3}N	0.0013
硫黄酸化物濃度	JIS K0103・7.1 ｲｵﾝｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌ法	----- ppm	
硫黄酸化物の量	※ 時間当りの硫黄酸化物排出量	----- m^{3}N/h	
窒素酸化物濃度	JIS K0104・7.3 ｲｵﾝｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌ法	22 ppm	
窒素酸化物濃度	※ 残存酸素による補正値	21 ppm	
二酸化炭素濃度	JIS K0301・7.1 オルザット式	10.2 %	
酸素濃度	JIS K0301・7.1 オルザット式	4.3 %	
一酸化炭素濃度	JIS K0301・7.1 オルザット式	検出せず %	0.2
塩化水素濃度	JIS K0107・7.1 ｲｵﾝｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌ法	-----	
		以下余白	

◎ ※印については、計量証明対象外です。
◎ ”検出せず”とは、定量下限値未満のことです。
◎ ダスト濃度のＯｎ＝５です。
◎ 窒素酸化物のＯｎ＝５です。

【工程の一部を外部委託】有・無
委託業務の内容：
事業者名：
登録番号：
所在地：

(2)環境保全活動

	分野	活動項目	細目	目標	実施状況
1	事務所等での節電・節水	節電	休み時間等に消灯	徹底	徹底 照明及びPCモニター電源OFFを継続
			冷暖房の適正化	夏季28℃ 冬季21℃	目標通りの実施
			省電力電灯への切替	交換時順次切替	LED順次切り替え
		節水	節水の指導	徹底	徹底
			節水器具	全厨房	随時導入
2	事務所等での廃棄物の適正処理・減量	空缶、空瓶、紙類等の分別回収	ゴミ処理場にて分別	徹底	分別回収徹底
		コピー用紙の使用削減	両面コピーの徹底	両面コピーの比率80%以上	社内ネットワークによるペーパーレス化推進
		ミスコピー用紙の再利用	――	徹底	徹底
		廃棄物発生量	納入業者への梱包削減依頼	全納入業者に依頼	資材など各セクションにて口頭指導
3	事務所等での再生製品等の使用	グリーン購入の実施	文房具	100%	徹底
			機械器具・備品	新機購入時切替	随時
			サービス	可能な限り	――
		プリンタートナーカートリッジの再生利用	――	指導徹底	徹底
		充電池等の利用	――	指導徹底	徹底
4	環境負荷の少ない資源、材料燃料の選択	良質燃料への転換	――	――	――
		廃棄の際の環境影響を配慮した材料の選択	処分可能の塩素化合物の削減	全廃	随時 徹底
			梱包用発砲スチロールの削減	20%	納入業者持ち帰り
			分解工程の効率化	10%向上	――
5	自動車対策	マイカー通勤の抑制	――	10%	大規模宴会時は禁止
		過積載の抑制	啓発ステッカーの配布	全車両及び搬入車両	徹底
		低公害・省エネルギーな自動車への転換	――	車両買替時	車輌入替え時随時
6	特定フロン等使用量の抑制	代替フロンへの転換	――	メンテナンス時随時	随時転換
		設備更新時に特定フロン非使用を導入	――	新規導入時	――
7	環境に配慮した施設設備	緑地の整備	――	都度整備	都度整備
		ビオトープの整備	正面池、日本庭園池	鯉、金魚の放流	随時
		光害の抑制	夜間照明の減量化		随時
8	従業員教育	社員研修	――	新入社員指導	随時
		会議等での啓発	――	随時	会議や掲示板にて啓蒙
9	地域社会への参加	事業場周辺の清掃活動	――	――	――
		地域の環境保全活動への社員派遣	周辺の清掃作業	のべ40人程度	延べ25名程度

② 令和7年度環境保全結果報告書

＊電気、ガス、水道の使用量を1997年度対比で約20%削減します。
【結果】
Total使用量で、約40%削減し目標を達成。
稼働が徐々に上がっているところもありますが継続して行っている照明のLED化等の
省エネ設備への変更の効果が大きいと考えます。
またスタッフのエネルギーの節電や節約の意識が浸透してきているのも要因の一つと考えられます。

	電気 kwh	ガス Nm	水道 ㎥	
1997年度平均	1,042,059	150,155	22,366	
2025年度平均（令和7年度）	825,076	71,144	12,841	対比平均
対比（%）	79.2	47.4	57.4	61.3

＊電気、ガス、水道の使用量を2024年度対比で約1%削減します。
【結果】
Total使用量は、2024年度対比で約マイナス1%という結果となった。
LED化による節電効果が高く、また空調の温度管理や使用による節約が効果をみせた。
稼働上昇や地球温暖化に伴う水道使用量は若干増加しているがTotal99.3%という数字になった。
省エネ活動に関しては引き続き継続していく。

	電気 kwh	ガス Nm	水道 ㎥	
2024年度平均（令和6年度）	832,282	72,640	12,750	
2025年度平均（令和7年度）	825,076	71,144	12,841	対比平均
対比（%）	99.1	97.9	100.7	99.3